

令和6年度 音楽科 年間指導計画 第2学年 標準時数：35 江戸川区立二之江中学校

領域	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
歌唱 (20時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>校歌、区歌、混声2部合唱</li> </ul> 歌唱における基礎的な姿勢、発声方法、正しい日本語の発音などの学習を深める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>浜辺の歌</li> </ul> 拍子や速度、強弱の変化などを感じ取りながら、歌詞の内容を味わって歌う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>二部形式の楽曲について学習する。</li> <li>花の街</li> </ul> 歌詞の内容や曲想を知覚しながら、拍子や形式を理解して歌う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>混声3部合唱</li> </ul> それぞれの声部の役割を知覚、感受し、音色や強弱を工夫しながら合わせて歌う。	①表現したい思いや意図をもち、歌詞や曲想が表す情景や心情に相応しい音楽表現をするために必要な発声、日本語の発音、音程感覚などの技能を身につけて歌っている。 ②曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ③創意工夫を生かした表現で歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	①旋律の音の繋がり方や、強弱、速度を知覚し、日本語のもつ響きや抑揚と音楽の関りを感じ取っている。 ②強弱や速度、曲想を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ③それぞれの声部の役割を感じ取り、音色や強弱を工夫しながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞が表す情景や、心情を感じ取る活動に、主体的に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、それらを生かし表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ③それぞれの声部の役割を感じ取り、音色や強弱を工夫して表現する活動に主体的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>ワークシート内容及び提出</li> <li>実技テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
器楽 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギター応用</li> </ul> 簡単なコードの押さえ方を復習し、コードを押さえながら歌う。	①楽器の特徴に合わせた音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、合わせて演奏している。 ②曲想に応じて、強弱や速度、音色などに気を付けながら、歌と合わせて滑らかに演奏できている。	①音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感じ取りながら、自分なりに工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。	①ギターの基礎的・基本的な奏法をし、合奏する活動に主体的に取り組もうとしている。 ②クラシックギターのコードの押さえ方を習得し、歌と合わせて演奏する活動に主体的に取り組もうとしている。	
創作 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>旋律創作</li> </ul> 動機を生かした旋律を作る。	①旋律の特徴などを感じ取りながら、その特徴に合わせた音の組み合わせ方や、記譜の仕方などの技能を身につけて創作している。	①知覚、感受しながらリズム、響き、旋律の特徴などを生かした音楽表現を工夫し、どのようにリズムや旋律を作るかについて思いや意図をもっている。	①旋律の繋がりや跳躍の特徴を感じ取りながら、自分なりの思いや意図をもって旋律を作る活動に主体的に取り組んでいる。	
鑑賞 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>J.S.バッハ「小フーガ短調」</li> </ul> 作曲者とその時代について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>バロック時代の文化的背景と、フーガの形式について学習する。</li> <li>ベートーヴェン「交響曲第5番ハ短調」オーケストラの楽器の分類や仕組み、音色の特徴、演奏形態について学習する。</li> <li>ラヴェル「ボレロ」ホルスト「惑星」</li> </ul> ボレロのリズム及び楽曲の構成、作曲者やその時代背景について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>雅楽「越天楽」</li> </ul> 我が国の伝統的な音楽文化について学習する。	①曲想と音楽の構造や時代背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。	①情景や雰囲気を感じ出す楽器の音色、旋律、リズム、強弱の要素を感じ取り、それらの特徴を自分の言葉で表している。 ②曲想に合わせた歌い方や、使われている楽器の特徴を感じ取って聴いている。 ③音楽の特徴を作曲者の生きた時代背景や、曲に込められた思いと関連付けて理解し、自分なりの価値を考えながら聴いている。	①音楽を形作っている要素と結びつけながら、意欲的に聴こうとしている。 ②楽曲の背景となる歴史やオーケストラの楽器の音色などに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ③雅楽で使われている楽器や、演奏の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	